

教科目標：言語活動をいかした基礎基本の定着

学 期	月	単元名・内容	到達目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前 期	4	1「深まる学びへ」 ◆世界はうつくしいと ◆握手	表現の豊かさを味わい、 生き方を考える	詩に用いられている語句や表現に注目 して考えている。 抽象的な概念を表す語句などを用い て、登場人物の人物像を表すことがで きる。	文章の種類を踏まえて、物語の展開のしか たなどを捉えることができる。 文章の内容に沿って登場人物の生き方や 価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較 しながら考えている。	進んで語句の意味を考えた り、語感を確かめたりしなが ら、詩の解釈を深めようとして いる。
	5	◆学びて時に之を習ふ ◆漢字に親しもう1 ◆文法への扉1「走って」いる のは誰？				
	6	2「視野を広げて」 ◆作られた「物語」を超えて ◆漢字1 熟語の読み方 ◆漢字に親しもう2 ◆論理の展開を意識して書こう	問題意識をもち、社会に 視野を広げる	具体と抽象など情報と情報との関係に ついて理解を深めることができる。	目的や意図に応じて、社会生活の中から題 材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確 認し、伝えたいことを明確にすることができ る。	論理の展開や文章の構成を 吟味し、説得力のある文章を書 こうとしている。
	7	◆漢字に親しもう2 ◆論理の展開を意識して書こう				
後 期	9	3「言葉とともに」 ◆弁論大会	表現を楽しみ、言葉の世 界の奥深さを知る	理解したり表現したりするために必要 な語句の量を増やし、話や文章の中で使 うとともに、和語、漢語、外来語などを 使い分けを通して、語感を磨き語 彙を豊かにできる。	俳句の構成や表現のしかたについて評価 することができる。 表現のしかたを考えるなど、自分の考えが わかりやすく伝わる俳句になるように工夫 することができる。	言葉がもつ価値を認識する とともに、読書を生活に役立 て、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おう とする。
	10	◆俳句を味わう ◆言葉2 和語・漢語・外来語 ◆言葉の釣り糸を垂らす ◆報道文を比較して読もう				
	11	4「状況の中で」 ◆挨拶一原爆の写真によせて ◆故郷 ◆言葉3 慣用句・ことわざ・ 故事成語 ◆漢字2 漢字の造語力 ◆[推敲] 論理の展開を考える	多様な状況の中で生きる 人の姿に思いをはせ、考 えを深める	自分の生き方や社会との関わりを支え る読書の意義と効用について理解するこ とができる。	文章を批判的に読みながら、文章に表れて いるものの見方や考え方について考えるこ とができる。 文章を読んで考えを広げたり深めたりし て、人間、社会、自然などについて自分の意 見を持つことができる。	今までの文学的な文章の学 習を生かして、作品を批評する 観点を決め、自分の考えをまと めようとしている。
	12	5「自らの考えを」 ◆複数の意見を読んで、考えよ う ◆漢字に親しもう3 ◆初恋 ◆文法への扉2「ない」の違い がわからない？	多様性の中で自分の考え を確立する	自分の生き方や社会との関わりを支え る読書の意義と効用について理解するこ とができる	文章の構成や論理の展開、表現のしかたに ついて評価することができる。	文章を批判的に読むことに 粘り強く取り組み、学習課題に 沿って自分の考えを文章にま とめようとしている。
1	12	6「いにしえの心を受け継ぐ」 ◆和歌の世界 ◆君待つと ◆夏草「おくのほそ道」から	作品の背景を想像して読 み、古典の心を今に生か す	歴史的背景などに注意して古典を読む ことを通して、その世界に親しむことが できる。 長く親しまれている言葉や古典の一節 を引用するなどして使うことができる。	文章を批判的に読みながら、文章に表れ ているものの見方や考え方について考える ことができる。	作者のものの見方や感じ方 について、進んで考えを明確に しようとしている。
	2	7「価値を生み出す」 ◆それでも、言葉を ◆和歌の表現技法 ◆合意形成に向けて話し合おう	人との関わりの中で、新 しい価値を創造する	具体と抽象など情報と情報との関係に ついて理解を深めることができる。	文章を読んで考えを広げたり深めたりし て、人間、社会、自然などについて、自分の 意見を持つことができる。 進行のしかたを工夫したり互いの発言を 生かしたりしながら話し合い、合意形成に向 けて考えを広げたり深めたりすることがで きる。	自分の考えを深めるために、 今までの学習を生かして話し 合ったり、考えを述べたりしよ うとしている。
	3	8「未来に向かって」 ◆温かいスープ ◆私を束ねないで	これまでを振り返り、こ れからを見つめる	理解したり表現したりするために必要 な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊 かにしている。	文章を読んで考えを広げたり深めたりし て、人間、社会、自然などについて、自分の 意見を持つことができる。	今までの学習を生かして、作 品の価値や自分の可能性につ いて考えをまとめようとして いる。

令和8年度 川崎市立住吉中学校 数学科年間計画 第3学年
 教科目標：数学的活動を通して、自ら考え課題解決していく力の育成

植田 さおり

学期	月	単元名・内容	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	4	1章 式の計算 1節 多項式の乗法と除法 ① 単項式と多項式の乗法, 除法 ② 多項式の乗法 ③ 乗法の公式 2節 因数分解 ① 因数分解 ② 乗法の公式を利用する因数分解 3節 式の活用	単項式と多項式の乗法、多項式を単項式でわる除法、多項式どうしの乗法などの計算方法を身につけ、式の展開や因数分解をできるようにする。また、新たに身につけた計算方法を駆使し、数や図形の性質が成り立つことを説明する能力を高めること。	単項式と多項式の乗法および多項式を単項式でわる除法の計算をすることができたり、1次式の乗法の計算および公式を用いる式の展開や因数分解をしりすることができたり。	既に学習した計算の方法と関連づけて、式の展開や因数分解をする方法を考察し表現することができたり、文字を使った式で数量および数量の関係をとらえ説明したりすることができる。	文字を使った式のよさを実感して粘り強く考え、多項式について学んだことを生活や学習にいかそうしたり、文字を使った式を用いた問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。
	5	2章 平方根 1節 平方根 ① 2乗するとaになる数 ② 有理数と無理数 2節 平方根の計算 ① 平方根の乗法, 除法 ② 平方根の加法, 減法 ③ 平方根のいろいろな計算 3節 平方根の活用	平方根の学習を通して、取り扱う数の範囲を無理数まで拡張すること。	数の平方根の必要性和意味を理解し、数の平方根を含む簡単な式の計算をすることができたり、具体的な場面で数の平方根を使って表したり処理したりすることができたり。	既に学習した計算の方法と関連づけて、数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現することができたり、数の平方根を具体的な場面で使ったりすることができたり。	数の平方根のよさを実感して粘り強く考え、数の平方根について学んだことを生活や学習にいかそうしたり、数の平方根を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。
	6	3章 2次方程式 1節 2次方程式とその解き方 ① 2次方程式とその解 ② 因数分解による解き方 ③ 平方根の考えによる解き方 ④ 2次方程式の解の公式 ⑤ いろいろな2次方程式 2節 2次方程式の活用 ① 2次方程式の活用	2次方程式の様々な解き方を身につけ、それらを具体的な問題解決の場面で活用できるようにすること。	2次方程式の必要性和意味およびその解の意味を理解し、因数分解したり平方の形に変形したりして2次方程式を解くことができたり、解の公式を使って2次方程式を解くことができたりする。	因数分解や平方根の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考察し表現することができたり、2次方程式を具体的な場面で使ったりすることができる。	2次方程式のよさを実感して粘り強く考え、2次方程式について学んだことを生活や学習にいかそうしたり、2次方程式を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。
	7	4章 関数y=ax ² 1節 関数y=ax ² ① 関数y=ax ² ② 関数y=ax ² のグラフ ③ 関数y=ax ² の値の変化 2節 関数y=ax ² の活用 ① 関数y=ax ² の活用 3節 いろいろな関数 ① いろいろな関数	関数y=ax ² の特徴を考察したり、関数y=ax ² を活用して具体的な事象をとらえ説明したりする活動を通して、関数関係を表現し考察する能力をより一層伸ばすこと。	関数y=ax ² について理解したり、事象の中には関数y=ax ² としてとらえられるものがあることを知ったり、いろいろな事象の中に関数関係があることを理解したりしている。	関数y=ax ² としてとらえられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連づけて考察し表現することができたり、関数y=ax ² を使って具体的な事象をとらえ考察することができたりする。	関数y=ax ² のよさを実感して粘り強く考え、関数y=ax ² について学んだことを生活や学習にいかそうしたり、関数y=ax ² を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。
後期	10	5章 相似な図形 1節 相似な図形 ① 相似な図形 ② 三角形の相似条件 ③ 三角形の相似条件と証明 2節 平行線と線分の比 ① 三角形と比 ② 中点連結定理 ③ 平行線と線分の比 3節 相似な図形の面積の比と体積の比 ① 相似な図形の面積	三角形の相似条件を使って、図形の性質を論理的に確かめることを通して、数学的な推論の意義と方法についての理解を深め、論理的に考察し表現する能力を伸ばすこと。	平面図形の意味および三角形の相似条件について理解したり、基本的な立体の相似の意味および相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係について理解したりしている。	三角形の相似条件などをもとにして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができたり、平行線と線分の比についての性質を見だしそれらを確かめることができたりする。また、相似な図形の性質を具体的な場面で使うことができる。	相似な図形の性質のよさを実感して粘り強く考え、図形の相似について学んだことを生活や学習にいかそうしたり、相似な図形の性質を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。
	11	6章 円 1節 円周角の定理 ① 円周角の定理 ② 円周角の定理の逆 2節 円周角の定理の活用 ① 円周角の定理の活用	円という図形に着目し、円周角と中心角の関係についての考察を通して、円の性質の理解を深めることや、円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。	円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知っている。	円周角と中心角の関係を見いだすことができたり、円周角と中心角の関係を具体的な場面で使ったりすることができたり。	円周角と中心角の関係のよさを実感して粘り強く考え、円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習にいかそうしたり、円周角と中心角の関係をを使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。
後期	12	7章 三平方の定理 1節 三平方の定理 ① 三平方の定理 ② 三平方の定理の逆 2節 三平方の定理の活用 ① 平面図形への活用 ② 空間図形への活用	中学校3年間の図形領域の総まとめとして位置づけ、既習事項を駆使しながら、三平方の定理の美しさを感じとらせること。	三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知っている。	三平方の定理を見いだすことができたり、三平方の定理を具体的な場面で使ったりすることができる。	三平方の定理のよさを実感して粘り強く考え、三平方の定理について学んだことを生活や学習にいかそうしたり、三平方の定理を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。
	1	8章 標本調査 1節 標本調査 ① 母集団と標本 ② 母集団の数量の推定 2節 標本調査の活用 ① 標本調査の活用	母集団から標本を取り出し、標本の傾向を調べることで、母集団全体の傾向をとらえることができることを、具体的な活動を通して理解すること。	標本調査の必要性和意味を理解したり、コンピュータなどの情報手段を使うなどして無作為に標本を取り出し、整理したりすることができたり。	標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができたり、簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができたりする。	標本調査のよさを実感して粘り強く考え、標本調査について学んだことを生活や学習にいかそうしたり、標本調査を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしていたりしている。
	3					



令和8年度 第3学年 理科年間指導計画

担当 伊藤 司

月	単元	章	学習内容	評価		
				知	思	主
4月 (11)			どのようなときに運動がはじまるのだろうか(学びのプラン配布)			○
		1章 力のつり合い	1 物体が動かないための条件 2 力の合成 3 力の分解	○	◎	
5月 (13)	[エネルギー] 運動と エネルギー (33)	2章 物体の運動	1 物体の運動の表し方	○	○	
			2 運動の調べ方		◎	
			3 力と物体の運動の関係		◎	○
			4 物体に力がはたらかないときの運動		○	○
			5 力のおよぼし合い	○		◎
6月 (16)		3章 仕事とエネルギー	1 仕事	○	○	
			2 仕事の能率	○	○	
			3 エネルギー		◎	○
			4 位置エネルギーと運動エネルギー	○		◎
			4章 多様なエネルギーとその移り変わり	1 エネルギーの種類 2 エネルギーの変換 3 エネルギー変換の効率と熱の伝わり方	◎	○
6月 (16)		5章 エネルギー資源とその利用	1 生活を支えるエネルギー			○
			2 エネルギー利用上の課題	◎		○
			3 エネルギーの有効利用		○	◎
未来の生活 スマートコミュニティ						○
補充・深化(4)(学びのプラン提出)						
7月 8月 (8)	[生命] 生命の連続性 (14)		つながる生命(学びのプラン配布)			○
		1章 生物の成長	1 生物の成長 2 生物のふえ方	◎	○	
7月 8月 (8)	 	2章 遺伝の規則性と遺伝子	1 親から子への特徴の伝わり方	◎		
			2 遺伝子の本体	○		◎
江戸時代のバイオテクノロジー						○
補充・深化(3) (学びのプラン提出)						
9月 (15)	[物質] 化学変化と イオン (25)	1章 水溶液とイオン	1 水溶液にすると電気を通す物質			◎
			2 電解質の水溶液に電流を通したときの変化	◎		
10月 (16)		2章 酸・アルカリと塩	3 水溶液中での電解質の粒子		○	
			4 電池のしくみ	○	○	
			5 日常生活と電池	○		◎
			1 酸性やアルカリ性の水溶液の性質	○		◎
			2 酸性やアルカリ性の正体		◎	
3 酸性・アルカリ性の強さ		◎				
4 酸とアルカリを混ぜたときの変化	○		○			
5 イオンで考える中和	○		◎			
光で化学変化を進める「光触媒」						○
補充・深化(4) (学びのプラン提出)						
9月 (15)	[物質] 化学変化と イオン (25)	1章 水溶液とイオン	1 水溶液にすると電気を通す物質			◎
			2 電解質の水溶液に電流を通したときの変化	◎		
10月 (16)		2章 酸・アルカリと塩	3 水溶液中での電解質の粒子		○	
			4 電池のしくみ	○	○	
			5 日常生活と電池	○		◎
			1 酸性やアルカリ性の水溶液の性質	○		◎
			2 酸性やアルカリ性の正体		◎	
3 酸性・アルカリ性の強さ		◎				
4 酸とアルカリを混ぜたときの変化	○		○			
5 イオンで考える中和	○		◎			
光で化学変化を進める「光触媒」						○
補充・深化(4) (学びのプラン提出)						
11月 (18)	[地球] 宇宙の中の 地球 (20)		地球はどのような天体なのだろうか(学びのプラン配布)			○
		1章 地球とその外側の世界	1 太陽のまわりを回る天体 2 みずから光を出す天体	◎	○	
11月 (18)	 	2章 太陽と恒星の動き	1 天体の1日の動き	○	○	
			2 太陽の1年の動きと星座の移り変わり		○	○
			3 太陽の動きと季節の変化	◎		○
12月 (12)	 	3章 月と金星の動きと見え方	1 月の動きと見え方		◎	○
			2 金星の動きと見え方	○		◎
宇宙をめぐる物質						○
補充・深化(4) (学びのプラン提出)						
1月 (14)	[環境] 自然と人間 (24)		山と海に広がる森(学びのプラン配布)			○
		1章 自然界のつり合い	1 食物をめぐる生物どうしのつながり 2 生物の遺骸のゆくえ 3 生物の活動を通じた物質の循環	◎	○	
1月 (14)	 	2章 人間と環境	1 自然環境における人間	○		◎
			2 人間の生活による自然環境への影響		◎	
			3章 自然が人間の生活におよぼす影響	1 地球の表層に生きる人間	○	
2月 (17)	 	4章 科学技術と人間	2 自然からの恩恵と自然災害	○		◎
			1 科学技術の発展		◎	○
2月 (17)	 	5章 科学技術の利用と環境保全	2 科学技術から受けている恩恵		◎	○
			1 科学技術の発展で生じた課題と対策	◎		○
地球とともに生きる						○
補充・深化(4) (学びのプラン提出)						

教科目標:

- 1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- 2)曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- 3)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

学期	月	単元名・内容	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	4 5	「花」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	知) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 技) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	思) 旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図を持っている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	6	我が祖国より 「モルダウ」	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	知) 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。	思) 音色、旋律、速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。	楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	6 7	My Melody	表したいイメージと関わらせながら、音階の特徴及び音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して旋律を作る。	知) 音階の特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 技) 創意工夫を生かした表現で旋律をつくるために必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作で表している。	思) リズム、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図を持っている。	音階の特徴及び音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
	7 8 9 10	「予感」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、合わせて歌う。	知) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 技) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	思) 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図を持っている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
後	10	ポピュラー音楽	音楽の特徴とその背景とな	知) 音楽の特徴とその	思) 旋律、テクスチャ	音楽の特徴とその背

期		る文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。	を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。	景となる文化や歴史、ほかの芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
11 12	箏	楽器の音色や響きと奏法の関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏する。	知) 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 技) 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	思) 音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
1	花の街	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	知) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 技) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	思) 旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
2 3	3年生を送る会合唱 卒業式合唱	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、合わせて歌う。	知) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 技) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	思) 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図を持っている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

教科目標：(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を 創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

学期	月	単元名・内容	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
前期	4	オリエンテーション	○美術の学習で学ぶべき分野や身に付けた い力、授業での注意事項、また、学びの目 標や鑑賞の入り口、造形的な視点を生徒と 共有していくことを確認する。			(態鑑) 3年生の美術における表現活動 の意義や内容を知り、今後の表現活動に 倒して期待と意欲をもって学ぼうとして いる。				
	5	仏像の美 (鑑賞)	顔や手の表情がもたらす効果による全体の イメージなどを捉え、仏像彫刻の特色やよ さや美しさに関心を持ち、作者の意図と創 造的な工夫、美術文化の継承と創造につい て考えるなどして、見方や感じ方を深め る。	(知) 形や材料などの性質、それらが感 情にもたらす効果や、顔や手の表情や、 質感、空間などを基に、よさや美しさな どを全体のイメージや作風で捉えること を理解している。	(鑑) 受け継がれてきた表現の特質など から仏像彫刻のよさや美しさを感じ取り 愛情を深めるとともに、作者の意図と創 造的な工夫、美術文化の継承と創造など について考えるなどして、美意識を高 め、見方や感じ方を深めている。	(態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい 主体的に仏像彫刻のよさや美しさを感じ 取り愛情を深めるとともに、作者の意図 と創造的な工夫、美術文化の継承と創造 などについて考えるなどの見方や感じ方 を深める鑑賞の学習活動に取り組もうと している。				
	6	どこまで修復すべきか (鑑賞)	美術作品に受け継がれてきた美意識や造形 的なよさを感じ取り、美術文化の継承と創 造について考えるなどして、見方や感じ方 を深めたり、意見を出し合ったりする。	(知) 形や色彩、材料などの性質や、そ れらが感情にもたらす効果、造形的な特 徴などを基に、よさや美しさを全体のイ メージや作風などで捉えることを理解し ている。	(鑑) 美術作品に受け継がれてきた美意 識や表現意図などから、伝統や文化のよ さや美しさを感じ取り愛情を深めるとと もに、美術文化の継承と創造などについ て考えるなどして、美意識を高め、見方 や感じ方を深めている。	(態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい 主体的に伝統や文化のよさや美しさを感じ 取り愛情を深めるとともに、美術文化 の継承と創造などについて考えるなどの 見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に 取り組もうとしている。				
	7	8	9	10	古都の美しさをあらかず	修学旅行の思い出や古都の美しさをテーマ に主題を生み出し、形や色彩、構図、配置 などの効果を考え、意図に応じて自分の表 現方法を追求して創造的に表現する。	(知) 構図や色彩などが感情にもたらす 効果や、全体のイメージや作風などで捉 えることを理解している。 (技) 絵の具などの特性を生かし、意図 に応じて自分の表現方法を追求し、制作 の順序などを総合的に考えながら、見通 しを持って創造的に表している。	(発) 基に主題を生み出し、形や色彩、 描くものや配置などの効果を考え、創造 的な構成を工夫し、心豊かに表現する構 想を練っている。 (鑑) 古都の美しさを感じ取り、作者の 心情や表現の意図と創造的な工夫などに ついて考えるなどして、美意識を高め、 見方や感じ方を深めている。	(態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい 主体的に造形的なよさや美しさを感じ取 り、作者の心情や表現の意図と創造的な 工夫などについて考えるなどの見方や感 じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組も うとしている。 (態表) 美術の創造活動の喜びを味わい 主体的に構図、色彩などの効果を考え構 想を練ったり、意図に応じて自分の表現 方法を追求して創造的に表したりする表 現の学習活動に取り組もうとしている	
後期	11	12	1	2	3	篆刻	材料の特性や機能性を生かしてつくること に関心を持ち、材料のよさや美しさ、使う 場面や機能などを基に主題を生み出し、材 料や用具の特性を生かし、見通しを持って デザインし表す。	(知) 材料の特性や質感、それらが感情 にもたらす効果や、造形的な特徴や加工 方法を基に、材料の持ち味を全体のイメ ージで捉えることを理解している。 (技) 材料や用具などの特性を生かし、 意図に応じて表現方法を創意工夫して、 制作の順序などを総合的に考えながら、 見通しを持って創造的に表している。	(発) 材料のよさや美しさを基に、使う 場面や機能などから主題を生み出し、使 いやすさや機能と材料の特性や効果など との調和を総合的に考え、表現する構想 を練っている。 (鑑) 使う目的や機能との調和のとれた 洗練された美しさなどを感じ取り、表現 の意図と創造的な工夫などについて考え るなどして、美意識を高め、見方や感じ 方を深めている。	(態表) 美術の創造活動の喜びを味わい 主体的に材料の特性や機能性などを生か してつくることを考えて構想を練った り、意図に応じて表現方法を創意工夫し 見通しを持って創造的に表したりする表 現の学習活動に取り組もうとしている。 (態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい 主体的に使う目的や機能との調和のとれ た洗練された美しさなどを感じ取り、表 現の意図と創造的な工夫などについて考 えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の 学習活動に取り組もうとしている。
	11	12	1	2	3	墨で表現する楽 しさ	作品のよさを墨の濃淡などから捉え、墨や 筆の特性を生かし、工夫して表し、作品か ら感じ取ったことや、墨の表現で試したこ となどをもとに主題を見つけ、自分なりに 工夫して構想を練る。また自分の見方や感 じ方を大切に、墨で表したり、作品を 鑑賞したりする活動に楽しく取り組む。	(知) 墨の濃淡、かすれ、にじみなどの 表現の効果や、余白の効果、造形的な特 徴などをもとに、墨による表現の作風を 全体のイメージで捉えることを理解して いる。 (技) 墨の特性を生かし、意図に応じて 工夫して表している。	(思) 墨の表現のさまざまな効果をもと に主題を生み出し、全体と部分との関係 などを考え、創造的な構成を工夫し、心 豊かに表現する構想を練っている。 (鑑) 墨の表現のよさや美しさを感じ取 り、作者の心情や表現の意図と工夫につ いて考えるなどして、見方や感じ方を広 げている。	(態表) 美術の創造活動の喜びを味わ い、楽しく墨の効果を生かして作品を描 く表現の学習活動に取り組もうとしてい る。 (態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わ い、楽しく墨の表現のよさや美しさなど を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もう としている。

令和8年 保健体育科 年間授業計画

指導目標

【体育分野】
見方・考え方を働かせ、適切な課題解決やその解決に向けて、知識や技能を習得しながら、主体的に運動に取り組む資質や能力を育てる体育学習。
【保健分野】
見方・考え方を働かせ、自他の課題を発見し、健康の保持増進に関する内容を実生活の中で生かすことができる資質や能力の育成。

①生涯にわたって運動やスポーツに親しみ、スポーツとの多様な関わり方を見いだす力を養い、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成を重視する。
②運動の特性に触れながら、基本的な知識及び技能の習得、課題を解決するために思考力、判断力、表現力等の育成を図り、主体的に学習に取り組む態度を養う。
③健康・安全についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える能力を養う。

学期	前期																後期																指導者 1～3学年 渡辺 克己 油井 航 富樫 ふみ 佐川 桃子														
	4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月					12月				1月				2月				3月	
月																																															
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	43	44		
学校行事	入学式・新歓・授業参観 仮入部・教科総会 任命式				体育祭練習開始 第79回体育祭 耳鼻科検診 教育相談				修学旅行・三者面談 新体力テスト 前期中間テスト・壮行会				前期前半終了 市総体開会式				前期期末テスト 防災スクール				前期終業式 市駅伝大会 文化祭・合唱コンクール				3年後期中間テスト 2年職場体験				1・2年後期中間テスト 小6見学会 後期前半終了				教育相談 自然教室 3年学年末テスト				卒業と進級を祝う会 1・2年学年末テスト				後期生徒総会・三送会 卒業式 修了式・離任式						
1学年	1・2組 3・4・5組				B 器械運動 マット・跳び箱 (1・3、4組) C 陸上競技 短距離走・リ レーハードル走 (2・4、5組)				C 陸上競技 短距離走・リ レーハードル走 (1・3、4組) B 器械運動 マット・跳び箱 (2・4、5組)				D 水泳 クロール				E 球技 バレーボール (1・3、4組) E 球技 ソフトボール (2・4、5組)				E 球技 ソフトボール (1・3、4組) E 球技 バレーボール (2・4、5組)				F 柔道				E 球技 バスケットボール (1・3、4組) E 球技 サッカー(2・4、5組)				E 球技 サッカー(1・3、4組) E 球技 バスケットボール (2・4、5組)				G ダンス				体づくり運動 8 体育理論 3 器械運動 9 陸上競技 9 水泳 8 球技Ⅰ 9 球技Ⅱ 9 柔道 9 球技Ⅲ 9 球技Ⅳ 9 保健 15 ダンス 8	合計 105					
保健	クラスごと 健康な生活と疾病の予防①																心身の機能の発達と心の健康																														
2学年	1・2組 3・4組				B 器械運動 鉄棒・平均台 (1・3組) C 陸上競技 走り幅跳び 走り高跳び (2・4組)				C 陸上競技 走り幅跳び 走り高跳び (1・3組) B 器械運動 鉄棒・平均台 (2・4組)				D 水泳 平泳ぎ				E 球技 バレーボール (1・3組) E 球技 ソフトボール (2・4組)				E 球技 ソフトボール (1・3組) E 球技 バレーボール (2・4組)				F 柔道				E 球技 バスケットボール (1・3組) E 球技 サッカー(2・4組)				E 球技 サッカー(1・3組) E 球技 バスケットボール (2・4組)				G ダンス				体づくり運動 8 体育理論 3 器械運動 9 陸上競技 9 水泳 8 球技Ⅰ 9 球技Ⅱ 9 柔道 9 球技Ⅲ 9 球技Ⅳ 9 保健 15 ダンス 8	合計 105					
保健	クラスごと 傷害の防止																健康な生活と疾病の予防②																														
3学年	1・2組 3・4組				選択Ⅰ (1種選択) B 器械運動 C 陸上競技				D 水泳 (学校選択) クロール 平泳ぎ 背泳ぎ				選択Ⅱ (E ①～④より1種目選択) E 球技 ①ソフトボール ②バレーボール ③サッカー ④バスケットボール				F 柔道 (学校選択)				選択Ⅲ (E ①～④より1種目選択) E 球技 ①ソフトボール ②バレーボール ③サッカー ④バスケットボール				G ダンス (学校選択)				体づくり運動 11 体育理論 3 選択Ⅰ 17 (器械・陸上) 水泳 7 選択Ⅱ 17 (ソフト・バレー) 柔道 8 選択Ⅲ 17 (サッカー・バスケ) ダンス 7 保健 18	合計 105																	
保健	クラスごと 健康と環境																健康な生活と病気の予防③																														

令和8年度 技術・家庭科（技術分野）年間計画 第3学年

教科目標：生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、よりよい生活の実現に向け、生活を工夫し創造する資質・能力の育成

題材	学習活動	評価の観点		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報の技術	<ul style="list-style-type: none"> 計測・制御の仕組み 計測・制御のプログラミングによる問題の解決 	計測や制御について、仕組みを理解することができる。 ・ワークシート ・テスト		現代社会で使われている計測・制御について主体的に調べることができる。 ・授業観察 ・ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> シミュレーションソフトを使ったロボットの制御プログラム作成 安全・適切な制作、動作の確認、デバッグ等 	繰り返し処理や、汎用的な動きのプログラムを考えることができる。 アクティビティ図を理解することができる。 ・ワークシート ・作品	プログラムの仕組みを知り、制御プログラム作成に生かすことができる。 ・作品	プログラムの仕組みを主体的に理解しようとしている。 ・授業観察
エネルギー変換の技術	<ul style="list-style-type: none"> 使用目的や条件に適した機能と構造 問題の発見と課題の設定 電気回路の構想と設計 	電気回路を構想し、設計することができる。 ・ワークシート	使用目的に適した機能を考え判断することができる。 ・ワークシート	機器の機能や構造を理解しようとしている。 ・授業観察
	<ul style="list-style-type: none"> 電気回路の組立、点検 製作の過程や結果の評価改善 	回路の組み立てができる。 回路の点検ができる。 回路の製作ができる。 ・作品		作業に主体的に取り組んでいる。 ・授業観察
	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会、環境との関わり 技術の評価、選択と管理・運用・改良 	安全に作業を進めるための手順をまとめることができる。 ・ワークシート	生活や環境との関わりを考えることができる。 ・ワークシート	完成した作品について、適切な評価や活用ができる。 ・ワークシート
情報の技術	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転機械の制御プログラム作成 問題の発見と課題の設定、計測・制御システムの構想と情報処理の手順 	機械の特徴を知り、プログラミングに生かすことができる。 ・作品 ・ワークシート		材料や成型方法を選択し実践している。 プログラムの仕組みを主体的に理解し作品制作している。 ・授業観察
	<ul style="list-style-type: none"> 制作の過程や結果の評価、改善及び修正 計測・制御の適切な評価・活用 	アクティビティ図やプログラムの仕組みをまとめることができる。 ・ワークシート	完成したプログラムの評価や問題点・改善点を考え表現することができる。 ・ワークシート	完成したプログラムについて、主体的に評価・改良ができています。 ・ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> 社会の発展と情報の技術 生活や社会、環境との関わりを踏まえた技術 技術の評価、選択と管理・運用、改良と応用 	社会の発展と情報の技術についてまとめることができる。 ・ワークシート		社会の発展や環境との関わりを主体的に考えることができる。 ・授業観察

教科目標：生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、よりよい生活の実現に向け、生活を工夫し創造する資質・能力を育てる。

学期	月	単元名・内容	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前 期	4	「京都・奈良の衣食住」 ・京野菜、京のうどん、ハツ橋茶粥、柿の葉ずし等について ・京都と奈良のまちやについて ・西陣織、京友禅、奈良晒について	修学旅行と関連付けて、京都や奈良の歴史のある衣食住生活に触れ、知識を高めるとともに長い歴史の上に現在の生活があることを実感できるようにする。	・京野菜、京都のうどんハツ橋、水無月、茶粥柿の葉ずし、奈良漬け京都・奈良の町屋、西陣織、京友禅、奈良晒などに関する歴史的な背景などの知識を身に着ける。	・現代の生活の中に長い歴史のあるものが存在することを考えることができる。 ・自分たちの住む地域との違いを考察することができる。	・知識を身に着け、主体的に修学旅行に取り組み、衣食住の地域における相違点を考察する。
	5					
	6					
	7	「幼児の生活と家族」 ・幼い頃の振り返り ・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達	乳幼児期の子どもの心身の発達を理解し、人生において非常に重要な時期であることを理解する。 また、乳幼児の発達には個人差も多く、発達に応じたかわり方が重要であることを理解する。	・幼児期の重要性を理解できる。 ・幼児の体の発達の特徴と運動機能、生理機能の発達について理解する。 ・幼児の心の発達の特徴について理解できる。	・自分の幼児期の記憶をもとに幼児期の重要性について考えることができる。 ・幼児の体の発達や運動機能、生理機能の発達と事故等の危険について考える。 ・幼児期が人生において非常に重要な時期であることが考えられる。	・身近にいる幼児の発達の様子に興味をもてる。
	9	・幼児の生活習慣の習得 ・幼児の生活と遊び ・幼児との関わり方の工夫 ・遊び道具作り ・蒸し器を使った幼児のおやつ作り	乳幼児期の子どもの心身の発達を理解し、人生において非常に重要な時期であることを理解する。 また、乳幼児の発達には個人差も多く、発達に応じたかわり方が重要であることを理解する。	・基本的な生活習慣や社会的な生活習慣について理解できる。 ・幼児の遊びの意義と遊びの発達を理解する。 ・幼児にとってのおやつの必要性がわかり、適切なおやつを作ることができる。	・基本的な生活習慣や社会的な生活習慣の習得が重要で、そのためには、家族の協力が重要であることを考えることができる。 ・幼児の発達を促すおもちゃを考えることができる。 ・幼児のおやつとして適切なものを考えることができる。	・幼児の心身の発達と生活習慣の獲得の関連性について考察することができる。 ・現代の子どもの発達をさまざまな要因について考察することができる。
	10					
	11					
	12					
	後 期	1	「家庭生活と地域の関わり」 ・中学生にとっての家族 ・高齢者の心身の特徴と介助方法の基礎 ・車いすの操作	家族との関わりから地域の人々との関わりを意義を理解する。 高齢者への理解を深め、簡単な介助方法などを身に付け共生のための実践力を身に付ける。	・高齢者の心身の特徴を理解できる。 ・高齢者の安全な介助方法を身に付ける。 ・車いすの操作法を身に付けられる。 ・バリアフリーの意味がわかる。 ・ユニバーサルデザインの意味がわかる。	・家族の中で自分がどのような役割を果たしているか考えられる。 ・高齢者の心について考えてみようとする。 ・高齢者の心身の特徴から介助するときの留意点を考えられる。 ・車いすで移動する際に危険な箇所が考えられる。
2						
3						
		「私たちの消費生活と環境」 ・環境に配慮した消費生活 ・消費行動が環境に与える影響 ・世界の国々と連携した持続可能な生活の創造へ ・消費者の権利と責任	持続可能な社会の構築などの視点から自立した消費者として責任ある消費行動を考え工夫できる。また、自分や家族の消費生活の中から問題を発見し、課題を設定し、その解決に向けて計画を立て実践していく。	消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解できている。	自立した消費者としての消費行動について問題を見出して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価、改善し、考察したことを論理的に表現する。	よりよい生活の実現に向けて消費者の権利と責任について課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりすることで、生活を工夫しようと努力している。

令和8年度 住吉中学校 英語科年間計画 第3学年 川添誠矢

教科目標:これまでの自分のことや社会的な問題などについて、聞いたり読んだりしたことをもとに伝え合うことができる。

[L]=聞く、[R]=読む、[SI]=話す(やり取り)、[SP]=話す(発表)、[W]=書く

月	単元・教材名	到達目標・活動目標 (重点化領域)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	Unit 1 Virtual Safari Tour	[R] 記事から、質問の答えに必要な情報を読み取ることができる [SP] 記事から読み取った事実をもとに、自分の考えを発表することができる	<知識>受け身の文、「let [help]+人・もの+動詞の原形」、「tell+人+that+文」の意味・形・使い方を理解している。 <技能>受け身の文、「let [help]+人・もの+動詞の原形」、「tell+人+that+文」などについての理解をもとに、絶滅のおそれのある動物について書かれた記事の内容を読み取ったり、読んだり聞いたりした事実をもとに話したりする技能を身につけている。	質問に答えるために、絶滅のおそれのある動物について書かれた記事から、必要な情報を読み取っている。 絶滅のおそれのある動物のおかれた状況について理解を深めるために、記事から読み取った事実などをもとに、伝える内容を整理し、感心したことや驚いたことを発表している。	質問に答えるために、絶滅のおそれのある動物について書かれた記事から、必要な情報を読み取ろうとしている。 絶滅のおそれのある動物のおかれた状況について理解を深めるために、記事から読み取った事実などをもとに、伝える内容を整理し、感心したことや驚いたことを発表しようとしている。
5月	Unit 2 Our School Trip	[L] 話し合いを聞いて、話し手の意見の要点を捉えることができる [SI] 聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりすることができる	<知識>現在完了形の<完了>や<経験>の用法の意味・形・使い方を理解している。 <技能>現在完了形の<完了>や<経験>の用法などについての理解をもとに、修学旅行で参加するコースについての話し合いの内容を聞き取ったり、聞いた話をまとめて自分の意見を伝えたりする技能を身につけている。	話し合いをまとめるために、グループで参加するコースについての話し合いを聞き、話し手の意見の要点を捉えている。 参加するコースを決めるために、聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりしている。	話し合いをまとめるために、グループで参加するコースについての話し合いを聞き、話し手の意見の要点を捉えようとしている。 グループで参加するコースを決めるために、聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりしようとしている。
6月	Unit 3 Lessons From Hiroshima	[R] ある人物の手記を読み、おおまかな内容を捉えることができる [W] 読んだ手記の感想や考えをレポートに書くことができる	<知識>現在完了形の「継続」の用法、現在完了進行形、「疑問詞+to+動詞の原形」の意味・形・使い方を理解している。 <技能>現在完了形の「継続」の用法、現在完了進行形、「疑問詞+to+動詞の原形」などについての理解をもとに、手記の内容を読み取ったり、学んだことや感想や考えを書いたりする技能を身につけている。	平和のためにできることを考えるきっかけにするために、手記を読み、おおまかな内容を捉えている。 平和のためにできることを考えるきっかけにするために、読んだことをもとに感想や考えを整理してレポートを書いている。	平和のためにできることを考えるきっかけにするために、手記を読み、おおまかな内容を捉えようとしている。 平和のためにできることを考えるきっかけにするために、読んだことをもとに感想や考えを整理してレポートを書こうとしている。
7月	You Can Do It! 1 学校生活について意見をまとめよう	[R] [SI] 話し合いの中で意見をまとめることができる	<知識>既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 <技能>既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、学校生活についての意見文の内容を読み取ったり話したりする技能を身につけている。	海外の中学生たちと意見交換をするために、学校生活について書かれた意見文を読み、おおまかな内容を捉えている。 海外の中学生たちと意見交換をするために、学校生活について書かれた意見文をもとに話し合い、グループの意見をまとめている。	海外の中学生たちと意見交換をするために、学校生活について書かれた意見文を読み、おおまかな内容を捉えようとしている。 海外の中学生たちと意見交換をするために、学校生活について書かれた意見文をもとに話し合い、グループの意見をまとめようとしている。
9月	Unit 4 AI Technology and Language	[R] 投稿文を読み、それぞれの意見の要点を捉えることができる [W] 読んだ投稿文についての自分の意見を整理して書くことができる	<知識>関係代名詞which, who, thatが主語となる文の意味・形・使い方を理解している。 <技能>関係代名詞which, who, thatが主語となる文などについての理解をもとに、AIの技術と外国語学習について、投稿文の内容を読み取ったり、自分の意見を書いたりする技能を身につけている。	外国語を学ぶことの意義について考えるために、4人の投稿文を読み、それぞれの意見の要点を捉えている。 外国語を学ぶことの意義について考えるために、読んだ投稿文の内容をもとに伝える情報を整理して、自分の意見を書いている。	外国語を学ぶことの意義について考えるために、4人の投稿文を読み、それぞれの意見の要点を捉えようとしている。 外国語を学ぶことの意義について考えるために、読んだ投稿文の内容をもとに伝える情報を整理して、自分の意見を書こうとしている。
10月	Unit 5 My Dreams for the Future	[R] プレゼンテーションの原稿を読み、概要を捉えることができる [SP] 調べたことや自分の考えを、順序立てて発表することができる	<知識>関係代名詞which, thatが目的語になる文や、文による後置修飾の意味・形・使い方を理解している。 <技能>関係代名詞which, thatが目的語になる文や、文による後置修飾などについての理解をもとに、世界が抱える課題について書かれたプレゼンテーション原稿の内容を読み取ったり、調べたことや考えを話したりする技能を身につけている。	世界にはどんな課題があるのかを考えるために、プレゼンテーションの原稿を読んで、おおまかな内容を捉えている。 世界が抱える課題についてクラスメイトに知らせるために、調べたことや自分の考えを整理し、順序立てて発表している。	世界にはどんな課題があるのかを考えるために、プレゼンテーションの原稿を読んで、おおまかな内容を捉えようとしている。 世界が抱える課題についてクラスメイトに知らせるために、調べたことや自分の考えを整理し、順序立てて発表しようとしている。
11月	Unit 6 The Chorus Contest	[L] おすすめの作品について話を聞き、おおまかな内容を捉えることができる [SI] おすすめの作品について、詳しい情報を伝え合うことができる	<知識>動詞の-ing形による後置修飾、過去分詞による後置修飾、間接疑問文の意味・形・使い方を理解している。 <技能>動詞の-ing形による後置修飾、過去分詞による後置修飾、間接疑問文などについての理解をもとに、登場人物のおすすめの作品を聞き取ったり、自分のおすすめの作品について話したりする技能を身につけている。	旅立つ友達に贈るプレゼントの参考にするために、登場人物のおすすめの作品についての会話を聞いて、おおまかな内容を捉えている。 友達に作品をすすめるために、自分のおすすめの作品について伝えたい情報を整理して説明したり、相手からの質問に答えたりしている。	旅立つ友達に贈るプレゼントの参考にするために、登場人物のおすすめの作品についての会話を聞いて、おおまかな内容を捉えようとしている。 友達に作品をすすめるために、自分のおすすめの作品について伝えたい情報を整理して説明したり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
12月	You Can Do It! 2 持続可能な社会に向けよう	[R] [W] 情報をもとに考えを整理して伝えることができる	<知識>既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 <技能>既習の表現・語句の意味や働きについての理解をもとに、持続可能な社会に向けた取り組みについての報告の内容を読み取ったり、自分が身の回りで取り組める活動を報告に書いたりする技能を身につけている。	世界の10代の若者による持続可能な社会に向けた取り組みについて知るために、2つの報告を読んで、要点を捉えている。 世界の10代の若者に自分たちの取り組みをレポートするために、問題意識とその解決のための取り組みなど伝えたい情報を整理して持続可能な社会に向けた取り組みの報告を書いている。	世界の10代の若者による持続可能な社会に向けた取り組みについて知るために、2つの報告を読んで、要点を捉えようとしている。 世界の10代の若者に自分たちの取り組みをレポートするために、問題意識とその解決のための取り組みなど伝えたい情報を整理して持続可能な社会に向けた取り組みの報告を書こうとしている。
1月	Unit 7 Tina's Speech	[L] スピーチを聞いて、伝えている内容の要点を捉えることができる [SP] 伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチをすることができる	<知識>If I could ~、or I wish I could ~の仮定法の文の意味・形・使い方を理解している。 <技能>If I could ~、or I wish I could ~の仮定法の文などについての理解をもとに、中学校3年間の思い出について、スピーチの内容を聞き取ったり話したりする技能を身につけている。	登場人物の思い出に残っていることを知るために、スピーチを聞いて、内容の要点を捉えている。 中学校3年間の思い出を振り返り、クラスメイトと分かち合うために、伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチをしている。	登場人物の思い出に残っていることを知るために、スピーチを聞いて、内容の要点を捉えようとしている。 中学校3年間の思い出を振り返り、クラスメイトと分かち合うために、伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチをしようとしている。
2月	Unit 8 Goodbye, Tina	[R] 手紙から、書き手が伝えたい気持ちを読み取ることができる [W] 表現を工夫して、自分の気持ちを伝える手紙を書くことができる	<知識>既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 <技能>既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、大切な人に宛てた手紙の内容を読み取ったり、大切な人に気持ちを伝える手紙を書いたりする技能を身につけている。	自分が手紙を書くときの参考にするために、登場人物が大切な人に宛てて書いた手紙を読み、書き手が伝えたい気持ちを読み取っている。 大切な人に感謝の気持ちを伝えるために、内容や表現を工夫して、手紙を書いている。	自分が手紙を書くときの参考にするために、登場人物が大切な人に宛てて書いた手紙を読み、書き手が伝えたい気持ちを読み取ろうとしている。 大切な人に感謝の気持ちを伝えるために、内容や表現を工夫して、手紙を書こうとしている。
3月	You Can Do It! 3 自分たちのこれからに言葉を贈ろう	[R] [W] 大切な人や自分に宛てて気持ちを表現することができる	<知識>既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 <技能>既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、「人を動かす言葉」の内容を読み取ったり、贈る言葉を書いたりする技能を身につけている。	言葉がもつ「人を動かす力」について知るために、紹介された言葉を読み、そこに込められた思いを捉えている。 友達やこれからの自分を応援するために、内容や表現を工夫して、気持ちが伝わる言葉を書いている。	言葉がもつ「人を動かす力」について知るために、紹介された言葉を読み、そこに込められた思いを捉えようとしている。 友達やこれからの自分を応援するために、内容や表現を工夫して、気持ちが伝わる言葉を書こうとしている。

Let's Read More 1 Elections in Norway	[R] 記事を読んで、おおまかな内容を捉えることができる	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、選挙についての記事の内容を読み取る技能を身につけている。	日本とノルウェーの選挙の様子の違いを知るために、記事を読み、おおまかな内容を捉えている。	日本とノルウェーの選挙の様子の違いを知るために、ノルウェーの選挙を紹介する記事を読み、おおまかな内容を捉えようとしている。
Let's Read More 2 Fight for Equality	[R] 伝記を読んで、おおまかな内容を捉えることができる	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、人種差別に立ち向かった少女の伝記の内容を読み取る技能を身につけている。	人種差別に立ち向かった少女について知るために、伝記を読み、おおまかな内容を捉えている。	人種差別に立ち向かった少女について知るために、伝記を読み、おおまかな内容を捉えようとしている。
Let's Read More 3 A story from The Adventures of Tom Sawyer	[R] 物語の一部を読んで、おおまかな内容を捉えることができる	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、物語の内容を読み取る技能を身につけている。	150年ほど前の話が現代の私たちにも通じるかを確かめるために、『トム・ソーヤーの冒険』の一部を読み、おおまかな内容を捉えている。	150年ほど前の話が現代の私たちにも通じるかを確かめるために、『トム・ソーヤーの冒険』の一部を読み、おおまかな内容を捉えようとしている。

特別の教科「道徳」 3学年 年間指導計画

月	番号	教材名	学習指導要領との関連	ねらい
4	1	道徳の学習を始めよう		道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳科の学びの見通しをもたせ、これからの学びを広げたり、深めたりしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	2	がんばれおまえ	A(3) 向上心、個性の伸長	好きな少女の前で、本当の自分をさげすみ出せないと思ふ少年の物語を通して、「自分」を見つめさせ、かけがえのない自分を肯定的に捉え、充実した生き方をしようとする心情を育てる。
5	3	「こち亀」は、四十年間休みなし	A(2) 節度、節制	漫画家・秋本治さんが「時間術」について書いた文章を通して、望ましい生活習慣がもたらすものとは何かを考えさせ、よりよい生活習慣を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。
	4	私がピンク色のキャップをかぶるわけ	B(8) 友情、信頼	水泳の全国大会を目前とする生徒とそのライバルとの交流を描いた生徒作品を通して、友達とはどんな存在かを考えさせ、互いに高め合うことのできるような人間関係を築いていこうとする心情を育てる。
	5	礼儀正しさとは	B(7) 礼儀	礼儀正しい言葉遣いやしぐさを書き出したり、柔道・大野将平選手のオリンピックでのエピソードを読んだりすることを通して、礼儀正しさは、人に何を伝えるかを考えさせ、礼儀に込められた相手を尊重する心を大切に、その礼儀を表そうとする心情を育てる。
6	6	「リクエスト食」に込められた思い	D(19) 生命の尊さ	「リクエスト食」に取り組むホスピスの話を通して、命を大切にすることはどういうことかを考えさせ、かけがえのない命を大切にしようとする心情を育てる。
	7	小さな出来事	C(11) 公正、公平、社会正義	自分が行った不正な振る舞いを回想する人物を描いた魯迅の小説を通して、公正な社会をつくるのは人々のどんな考え方を考えさせ、正義と公正さを重んじる心情を育てる。
	8	三年目の「ごめんね」	A(1) 自主、自律、自由と責任	修学旅行中、孤立する同級生に一度は声をかけ、いっしょに行動し始めたものの、友人の目を気にして離れた主人公の姿を通して、自分で考え、誠実に行動することはどうして大切なのかについて考えさせ、誠実に責任ある行動を取ろうとする判断力を育てる。
	9	アイツとオレ	B(9) 相互理解、寛容	対照的な性格の二人の生徒の姿を描いた漫画を通して、他者とわかり合うために必要なことは何かを考えさせ、他者と相互に理解し合い、高め合おうとする心情を育てる。
7	10	私たちの合唱祭	C(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	合唱祭の在り方についての解決策を検討することを通して、よりよい学校をつくるために大切なことは何かを考えさせ、学級や学校の一人として、学校生活を充実させていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	11	言葉が見つからないとき	B(6) 思いやり、感謝	末期がんの善さんと看護師たちとのやり取りが描かれた文章を通して、人が人を思うとは、どういうことかを考えさせ、思いやりの心をもって人と接し、その心に感謝し、人間の愛の精神を深めようとする心情を育てる。
9	12	タコをたどって見えるもの	D(20) 自然愛護	身近な食材であるタコについての資料などを通して、自然を大切にしながら生活していくためにはどんな考えが必要かを考えさせ、自分たちの生活とつながっている自然環境を、進んで守っていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	13	自分を輝かせるには	A(3) 向上心、個性の伸長	陸上選手の田中希実さんの「自分を輝かせる言葉」を通して、自己を見つめ、個性をよりよい方向に伸ばして自分らしく生きるためのヒントを手に入れ、自己を向上させ、充実した生き方をしようとする実践意欲と態度を育てる。
	14	働く姿から見えるのは？	C(13) 勤労	水族館を動かしている、さまざまな職種に従事する人たちの仕事への思いを通して、一人一人のどんな働く姿勢が社会や組織を動かしているのかを考えさせ、将来、働くことを通じて社会や組織に貢献しようとする実践意欲と態度を育てる。
10	15	サグラダ・ファミリア——受け継がれていく思い	D(21) 感動、畏敬の念	ガウディが設計したサグラダ・ファミリアの建設に携わる外尾さんの姿を通して、人は、どんなものに心を動かされるのかを考えさせ、時を超えてつながる思いや美しいもの、気高いものを感じる心を大切にしようとする心情を育てる。
	17	漫画泥棒	C(10) 遵法精神、公德心	漫画の紙面をSNS上で紹介しようと思っていた「私」が映画の無断投稿について考える話を通して、他者の権利を守るために大切なことはどんなことかを考えさせ、自他の権利を大切に、規律ある社会の実現を目的とする実践意欲と態度を育てる。
	18	インターネットの中の社会で	A(1) 自主、自律、自由と責任	SNS上の「炎上」を扱った教材を通して、インターネットで人々がつながる社会を生かすためには、どんな考え方が必要かを考えさせ、自律を重んじ、自分の言動に責任をもとうとする実践意欲と態度を育てる。
	19	家族って？ 家庭って？	C(14) 家族愛、家庭生活の充実	さまざまな家族の形を知ることを通じて、家族とはどのようなものかを考えさせ、自分なりの理想の家族を思い描きながら、よりよい家庭生活を築こうとする心情を育てる。
11	20	好いとっちゃん、博多	C(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土を愛し、その発展に尽力した西島伊三雄さんの思いや願いについて書かれた文章を通して、郷土を愛する心について考えさせ、地域社会の一員として郷土の発展に努めようとする心情を育てる。
	21	障子あかり	C(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	照明デザイナーの石井幹子さんが日本の光文化について語った文章を通して、日本の文化を知り、継承することの意味を考えさせ、優れた伝統と新しい文化を創造していこうとする心情を育てる。
	22	一票を投じるの意味	C(12) 社会参画、公共の精神	選挙に関心をもち始めた生徒を描いた物語と、選挙の意味について書かれた説明文を通して、よりよい社会を実現するために大切なことは何かについて考えさせ、社会の問題に目を向け、社会参画への意識を高めようとする実践意欲と態度を育てる。
12	23	足袋の季節	D(22) よりよく生きる喜び	おばあさんのつり銭をごまかし、それを償うことができなかった後悔の念を語る随筆を通して、人がもつ弱さや醜さを見つめ、それを乗り越えようとする力について考えさせ、自分の弱さと向き合い、誇りをもって生きようとする心情を育てる。
	24	希望のカレンダー	A(4) 希望と勇氣、克己と強い意志	「希望学」を研究している筆者が、東日本大震災後、被災地にカレンダーを届けたエピソードを通して、「希望」は、私たちにどんな力を与えるのかについて考えさせ、人間としてよりよく生きるために希望の価値を思いだそうとする判断力を育てる。
	25	ぼくの物語 あなたの物語	C(11) 公正、公平、社会正義	黒人作家ジュリアス・レスターの人種差別問題についてのメッセージを通して、差別や偏見のない社会を実現するために大切なことは何かについて考えさせ、正義を重んじ、差別や偏見をなくすための判断力を育てる。
1	27	ソーシャル・ビュー——見えない人と楽しむ美術鑑賞	B(9) 相互理解、寛容	見えない人と楽しむ美術鑑賞についての文章を通して、社会で他者と共に生きるために大切なことについて考えさせ、それぞれの個性に根ざしたものの見方や考え方があることを理解し、それを尊重してよりよい社会を築いていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	28	鉄腕アトムをつくりたい——人工知能研究は人間探究	A(5) 真理の探究、創造	人工知能研究にける筆者の経験や思いをつづった文章を通して、真理を探究する心について考えさせ、真理や真実を求め、好奇心をもって探究し続ける心情を育てる。
	29	恩讐の彼方に	B(9) 相互理解、寛容	贖罪のために難事業に取り組む僧と、彼に復讐を企てる若者との葛藤を描いた小説を通して、寛容の心とはどんな心かについて考えさせ、人間のもつ醜さや乗り越え、「許す」ことの難さを理解しようとする心情を育てる。
2	30	希望の義足	C(18) 国際理解、国際貢献	ルワンダの内戦で負傷した人々に義足を提供した吉田真実さんらの活動について書かれた文章を通して、他国の人と関わりながら生きていくのに大切なことは何かを考えさせ、他国の人々を尊重し、国際貢献に努めようとする実践意欲と態度を育てる。
	31	私の再出発	A(4) 希望と勇氣、克己と強い意志	78歳で夜間学級に入学し、81歳で卒業した後にも学び続けようとする見目律子さんの作文を通して、自分を高めていくことについて考えさせ、目標をもって学び、困難を乗り越えて、よりよく生きていこうとする実践意欲と態度を育てる。
3	32	「学び」の本質を探ろう	A(5) 真理の探究、創造	教科書に示された九つの問いをヒントに、他者と語り合うことを通じて「学び」の本質を考えさせ、「学び」を探究することで人生を切り拓いて生きていこうとする判断力を育てる。
	34	一年間の学びを振り返ろう		これまでに記入した「まなびの記録」や「手紙～拝啓 十五の君へ～」の歌詞を基に、1年間の道徳で学んだことを振り返り、これからの自分の生き方について考えを深め、学んだことを生かしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
26	33	命と向き合う	D(19) 生命の尊さ	生命誌研究者の中村桂子さんによる、命に関する文章を読み、話し合うことを通じて、生命の尊さについて考えさせ、生命を尊ぶ実践意欲と態度を育てる。
	26	あつてはならない違い	C(11) 公正、公平、社会正義	生活の中にある「さまざまな違い」を通して、「あつてはならない違い」をなくすためには、どんな考え方が大切なのかを考えさせ、公正、公平な考え方をもち、よりよい社会をつくろうとする実践意欲と態度を育てる。